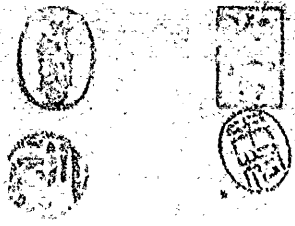


8860 第七頁



大臣 引送

陸軍省第一五七號

陸軍省第一五七號

昭和七年五月廿五日

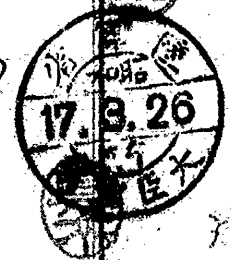
陸軍省副官

川原直一殿

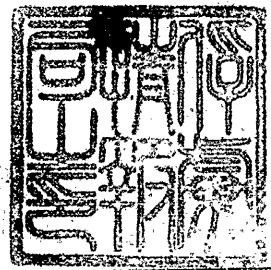
御中

Vertical text on the right side of the main frame, likely the body of the letter or report.

取付る



俘虜情報局



6860

極秘

上海、香港俘虜收容所視察報告

昭和十七年三月二十三日

陸軍中佐 手島 寛

俘虜情報局長官 上村幹男 殿

首題ノ件別紙ノ通り報告ス

## 第一 一般的事項

## 一 俘虜ノ整理

從來シ支那軍捕虜ハ特ニ其用途ノ確立セルモノハ別トシテ一般ニハ歸郷セシメ安居樂業ニ就カシメタル方針ナリシニ鑑ミ米英軍等ニ強制編入セラレタル土着亞細亞民族ハ原則トシテ之ヲ解放スルヲ至當トスル如ク思惟セララル。

南方總軍兵站計畫ニ依リ捕虜ハ現地軍ニテ處理シ得ル如ク規定セラレアリトノコトナルモ本聖戰ノ意義ト民族の團結トニ鑑ミ整理ニ關シ適確ナル馮據ヲ現地軍ニ指示セララルベキナリ。

二 俘虜ヲ勞役ニ使用シ生擴ヲ目的トスル以上收容所ノ位置ハ主トシテ俘虜勞役ニ依ル積極的生産擴充ノ見地ヲ基礎トシテ決定セラレザルベカラズ香港ノ如キハ軍事上及商業上ノ重要都市タルベキモノニシテ貨物ノ揚陸搭載、道路、鐵道等ノ交通線及船舶ノ修理作業等ニハ勞役者ヲ要スベキモ一萬人ハ必要トセザルベシ尙一日モ彼等ヲシテ無爲徒食セシメザルタメニハ容易ニ其勞役ヲ見出シ得ル位置ニ移轉（行軍）セシムベク且勞役

ニ關シ的確ナル指示ヲ與ヘ且監督スルノ要アリ

ニ 俘虜收容所ノ直接管理ニ任スル當事者ハ俘虜取扱ニ關スル諸法規諸條令  
ヲ一通り研究シ置クヲ必要トス然ラザレバ上下ノ意志ノ疎通ヲ害シ俘虜  
收容所ノ業務遂行圓滑ヲ缺キ國際的ノミナラズ國內的ニモ不利ヲ招クコ  
トトナルベシ以下各收容所毎ニ記述ス

## 第三 上海俘虜收容所

### 一 位置及附近ノ地形

上海市外ヨリ西北方三十軒楊行鎮附近ノ前日本陸軍兵舎ニ全俘虜ヲ收容シ其附近ノ地形ハ吳淞「タリ」ト揚子江トニ夾マレタル低地ニシテ排水一般ニ不良ナリ。

故ニ現在ノ位置ハ上海市街ト遠ク離レ俘虜ノ勞役上適當ナラズ、逃亡ノ防止ヨリスレバ可ナランモ上海市街ニ近ク選定スルヲ可トス。

### 二 收容所ノ建物及諸施設

日本軍兵舎タリシ關係上俘虜ノ國籍及收容區分ニ從ヒ若干ノ部屋ノ模様換ヲ要スルモノノ外格別ノ施設ヲ要セズ。然レドモ俘虜ヲ入院セシムル設備ナシ。先般當然入院セシムベキ患者ヲ日本軍陸軍病院ニ入院ヲ拒絕サレタルタメ兵室ニテ死亡シタル爲俘虜ハ之ヲ誹難シアリト

### 三 俘虜ノ狀況

收容人員ハ前香港總督「ヤング」以下千五百四十一名ニシテ「ヤング」ニハ居室寢室ノ二室ヲ與ヘ將校ニハ數人宛ノ小室ヲ配當シ其他一般ノ者ハ國籍別ニ收容シアリ。

三月十一日夜五名ノ共謀逃亡者アリタルモ翌十二日附近支那人ノ密告ニヨリ全員ヲ逮捕シ目下審議中ナリ。

俘虜中ニハウエーキ島ニテ建築作業ニ従事セシ七百四十七名ノ市民アリ其他僧侶、支那人、米國籍ノ日本人アリ。此等ハ嚴密ニ調査ノ上哉争ノ妨害トナラザレバ解放整理スルヲ可トス。

#### 四 給養

現地軍ヨリ直接現品ノ配給ヲ受ケ炊事掛下士官ノ指導監督下ニ俘虜タル炊事掛及當番ニヨリ彼等ノ嗜好ニ適スル如ク調理シアリ。野菜及肉ハ概シテ豊富ニシテ「食パン」モ時々配給ヲ受ケ給養ハ順調ナリ。然レドモ獻立ヲ確立シ給與規則第十五條ニ準據シ其經營ハ許シ得ル限リ節約主義ヲ執ルヲ可トス。

#### 五 被服

「ウエーキ島」ヨリノ俘虜ハ上海到着當時（二月）薄着ノタメ及採暖用燃料支給サレザリシタメ一時二百名餘ル感冒患者ヲ出セリ。其後冬服ヲ配給セシモ俘虜ノ衛生狀況ハ一般ニ不良ナリ。藁蓆團、寢臺、及毛布等ノ寢具ハ概シテ完備シアルモ藁蓆團ノ藁ハ一

般ニ其量少シ。

#### 六 金錢給與

將校ニ對スル俸給ハ未ダ支給シアラズ。

「ヤング」ハ文官ニシテ俸給ハ支給サレザルヲ以テ小使錢ニ困ルベシ  
彼ノ私有家具等香港ニ在リトノコトニテ調査セルモ其所在詳カナラズ

#### 七 勞役

勞役ハ課シアラズ。近ク射撃場ノ構築及藥莖磨ニ使役スル企圖ヲ有ス  
ハ衛生

流行性感冒其他傳染病ナシ

患者ハ百四十九名ニシテ内戰傷五名、呼吸器病五十三名アリ呼吸器病  
ノ斯ノ如ク多キハ上海到着當時ノ感冒ニ起因セルモノト思ハル

先般米國人「マイク」スタテン「マキ」一才榮養不良ノタメ兵室ニテ死  
亡セリ遺留品ナク遺骨ハ附近ノ教會ニ預ケアリ。此米國人ハ入院ヲ請  
求セルモ拒絶サレタルタメ遂ニ兵室ニ於テ死亡シタルモノナリ

然シ米國人「ブルデット」ハイベイ「二十二才」ハ盲腸炎ノタメ上海病  
院ニテ手術ヲ受ケ目下收容所ニ於テ治療ヲ受ケ快方ニ向ヒツ、アリ。

衛生材料ハ願調ニ支給サレ診療ニハ支障ナキモ重病人ニ對スル病室ノ設備ナク又一般ニハ陸軍病院ヘノ俘虜ノ入院ハ許可サレ居ラズ重病人ノ取扱ヒニ困リ居レリ。

衛生人員ハ軍醫ハ一名ナルモ俘虜中衛生部將校四名其他若干ノ俘虜衛生部員ヲ指揮シ衛生業務ニ使役シアルヲ以テ診療ニハ支障ナシ。但シ看護婦ハ一名モ居ラザルヲ以テ病院ノ設備ヲ有スルニ至レバ香港ヨリ若干名ヲ招致スルヲ可トス。

收容所ノ土地ハ低地ニシテ排水不良ナルヲ以テ周圍ニ壕ヲ掘ルヲ可トス。然ルトキハ警戒上逃亡防止ニモ可ナラシ。

入浴ハ浴槽一箇アリテ三日ニ一回ハ入浴シ得ル狀況ニアリ

#### 九 面會

上海陸軍報道部ガ俘虜情報ヲ收集ノタメ來レル際新聞記者ヲ伴ヒ彼等ヲシテ自由ニ俘虜ニ面會スル機會ヲ與ヘタル件ニ付キテハ收容所長トシテハ快ク思ヒ居ラズ前以テ承認ヲ受クルヲ至當ト考フ。

#### 十 救恤、酒保其他

救恤ハ上海「タイムス」社發行ノ新聞及上海租界外人ヨリノ個人的救



値ノ外受領シテラズ

酒保へ常續的ニハ開カズ時折所裏ニ應シ「食パン」「バター」「石鹼」「タオル」菓子等ヲ販賣セリ。過般逃亡者ヨリ得タル教訓ヨリ考フル時ハ彼等ノ逃亡時携帶口糧トナルベキ保存ニ耐ユル食糧ヲ賣ルハ適當ナラズ。

### 士通譯

二名ノ中一名ハ身体虛弱ニシテ其服務十分ナラズ。採用ノ際嚴密ナル身体検査ヲ必要トス。

之ヲ要スルニ所長以下各職員ハ熱心ニ服務シアリ今後管理部際ニ望ム所ハ收容所ヲ交通便ニシテ排水良好ナル地點ニ移スカ或ハ自動車ヲ相當敷配當シテ交通ノ便ヲ計リ俘虜ヲ可及的速ニ勞役ニ就カシムルニ在リ。

### 第三 香港俘虜收容所

#### 一 位置及附近ノ地形

香港俘虜收容所ハ九龍ノ本部一收容所三病院二及香港島ノ收容所及病院各一ヨリ成ル。何レモ市街内ニ在リテ海岸ニ近ク一般ニ排水良好ナリ。

九龍ノ孤軍營收容所及同病院及香港島ノ收容所ハ交通頻繁ナル道路ニ接シ外周ハ金網ノ柵ナルヲ以テ所内ノ通視自在ニシテ警戒上適當ナラズ。

#### 二 收容所ノ建物及諸施設

收容セル家屋ハ英軍ニテ使用セシ兵舎及病院ニシテ病院ハ其施設良好ナルモ兵舎ノ大部ハ戦闘ニヨル災害ヲ蒙リ破壊セラレタル箇所多シ其程度ハ材料及工具ヲ與へ俘虜ヲ使役シテ少クモ一ヶ月ヲ要スベシ特ニ水道ノ設備ハ衛生的見地ヨリ全般ニ亘リ速ニ完備スルヲ要スベキ狀況ニ在リ。

#### 三 俘虜ノ狀況

收容人員ハ一萬九百七十六名ニシテ概ネ國籍別ニヨリ收容シ將校ニハ

小室ヲ其他ニハ大部屋ヲ配當シアリ。  
 俘虜タル印度人三千八百二十名ノ中若干ハ目下奮備用トシテ訓練中ナ  
 ルモ彼等ハ其他ノ亞細亞民族ト共ニ作戰上妨害トナラザレバ調査ノ上  
 解放整理シ米英俘虜トハ別ニ東亞經濟計畫ニ基キ統一アル生産擴充勞  
 働ニ使用スルヲ得策ト考ヘラル。

#### 四 給養

現地軍ヨリ現品ノ配給ヲ受ケ炊事場下士官ノ指導監督下ニ俘虜タル炊  
 事掛將校及下士官兵ニヨリ隨意ニ調理セシメアリ。

野菜及肉ノ配給ハ概ネ原調ニシテ時ニハ「食パン」モ支給サレアリ

又入院患者ニハ牛乳ノ寄贈ヲ許可シアリ。

各收容所共獻立ヲ確立シ給與規則第十五條ニ準據シ節約主義ヲ勵行ス  
 ルヲ可トス

#### 五 被服

被服ハ概シテ俘虜ノ私有軍服ヲ着用セシメアリ。然レドモ一般ニ夏服  
 ヲ所持セズ又蚊帳ノ準備ナキヲ以テ之レカ考慮ヲ要ス。

慶具ハ概シテ各人毛布一枚ヲ有スルモ、寢臺ハ極メテ少ク兵ノ大部ハ土

間ニ毛布又ハ麻布類ヲ敷キテ就寢スル狀況ニアリ

#### 六 金錢給與

將校ニ對スル俸給ハ未ダ支給シアラズ。

先般飛行場ニ使役シタル外勞役ヲ課シアラズ。現在素質良好ナル若干ノ印度人ハ交通整理等ノ勤務ニ服セシメアルモ一般的ニ多數ノ俘虜ヲ生産擴充ノタメ使用スルニハ香港ハ不適當ニシテ其勞役ノ種類ト場所トヲ選定シ之レニ應ズル處ニ移スヲ可トス。

#### ハ 衛生

患者四百八十四名中戰傷ニヨルモノ二百八十五名傳染病ハ腸チブス三名大腸炎<sup>疑</sup>似赤痢九十二名ナリ。

衛生材料ハ總督部ガ引繼キタルモノノミニテハ俘虜ニハ十分ニ支給シ得サル狀況ニアリ

印度人ノ不衛生ニ起因スル赤痢ノ發生ハ其指導ト施設トニヨリ極力之ヲ防止シ我占領地内ニハ傳染病ハ絶無ナラシムルヲ要ス。而シテ傳染病患者ハ成ル可ク之ヲ一箇所ニ纏メテ收容隔離シ僅少ナル消毒劑ノ重點使用ニヨリ其消毒ヲ完全ナラシムルヲ緊要トス。

衛生人員ハ軍醫二名ヲ三箇ノ病院ニ充當シテモ成シ得レバ各病院ニ  
一名ノ專任軍醫ヲ置キ俘虜タル衛生部員ハ其階級ノ如何ヲ問ハズ其  
助機關タラシムベキナリ。

看護婦ハ八十八名ノ多數ナルヲ以テ若干ヲ他ニ移シ勤務セシムルヲ可  
トセシ

一般ニ入浴ハ行ヒアラズ水又ハ湯ニテ身体ヲ拭淨シアリ

#### 六 面會

香港俘虜收容所警備規定第八ニ依レバ外國人ガ俘虜ニ面會ヲ求ムル際  
ハ香港占領地總督ニ於テ許可スル如ク記述セラレアリ、收容所ガ外地  
ニ在ルタメ斯ク規定セラレタルナラジモ然ル下キハ俘虜取扱規則第九  
條ヲ改正スルヲ要ス。

#### 七 救恤、酒保

救恤ハ香港「タイムズ」社ノ新聞及外國人ノ個人的差入ノ外ナシ。  
酒保ハ目下開設準備中ナリ。

#### 十二 人事

各收容所ニハ幹部トシテ中少尉一名下士官若干名、其他經理部及衛生

部下士官ヲ收容所ニ付キ各一名ヲ勤務セシメアルモ深水埗收容所ノ如キハ俘虜四千百二十七名ヲ收容シアリテ其取締ハ困難ナル狀況ニアルモノト考ヘラル。

通譯ノ能力ハ一名ハ良好ニシテ年輩經歷ニ於テ奏任待遇ニ任ズルヲ可トスルモ中ニハ肺結核ノタメ目下入院中ノ者アリ採用ニ際シ身体検査ヲ嚴密ナラシムルヲ要ス。

### 十三其他

總督部衛生課ニ於テ英國人タル前香港衛生長官赤十字國際委員「セルピックラ」ナル者ヲ使用シアリ素ヨリ敵國人ノ使用ニ關シ嚴ニ警戒サレアルモノト思惟スルモ香港ニ於テ屢々我ニ不利ナル情報ノ發表セラルヲ思フ時更ニ注意ヲ倍進スルノ要アリ。

之ヲ要スルニ所長以下各職員ハ概シテ熱心ニ服務シアリ然レドモ俘虜ノ人員多キニ比シ直接其取締ニ任スル幹部ノ少キト下級幹部ノ素質優良ナラザルトノタメカ俘虜ノ取締ニ關シ尙改善ノ餘地尠カラザルモノアリ。即チ印度人ノ衛生ニ關スル指導、俘虜私物品ノ検査、居室ノ清潔整理、俘虜勤務ヲ確定シ整然タル統率ニ缺クル處アル等之ナリ

以上